学校番号	309

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「公共」（帝国書院）						
副教材等	ニュービジョン公共 2025（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会におけるさまざまな課題について、一斉授業・グループワーク・レポート作成などの活動をつうじて学習をすすめます。それらを通じて、ものごとを公正に判断する力や、問題を主体的に解決しようとする態度を身に付けてください。学習にあたっては、日頃からメディアで報道される時事的なテーマに興味を持ち、自分なりの意見や考えを持つ習慣を身に付けるよう心掛けてください。

２　学習の到達目標

国家・社会などのさまざまな公共的な空間において、社会に参画する自立した主体となるために私たちは、何を考え行動すればよいかを学ぶ。また現代社会の諸課題の解決に向けて、宗教・思想、政治・経済および国際社会の分野についての基本的な知識を身に付ける。さらにそれらの知識を活用して、様々な価値観から公正にものごと判断する力や、他者との合意形成や社会参画にむけて議論する力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の諸課題について基本的な知識や考え方を理解している。また、さまざまな資料から問題を主体的に考えるために必要な情報を適切に読み取ることができる。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる知識や考え方を活用し、ものごとを多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、主体的に学習に取り組んでいる。知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力などを身に付けるために粘り強い取り組みをおこなっている。また、取り組みのなかで，学習を向上させるために自ら調整している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部 私たちがつくる社会 第1章　社会の中の私たち	1青年期と社会参画 2 宗教・思想・伝統文化と社会	a：自らの体験などを振り返ることを通して自らを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。 b：社会に参画する自立した主体とは,孤立して生きるのではなく,地域社会などのさまざまな集団の一員として生き,他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 c：公共的な空間における課題の解決を視野に,主体的に社会に関わろうとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク 提出物
	第2章 思想から学ぶべきもの 第3章 私たちの社会の基本原理	1 倫理的な見方・考え方 1社会の基本原理と憲法の考え方	a：人間の尊厳と平等，個人の尊重,民主主義,法の支配,自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 b：公共的な空間における基本的原理について,思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して,個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c：公共的な空間における基本的原理について,日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に,主体的に社会に関わろうとしている。			

2学期	第2部 社会のしくみと課題 第1章 私たちと法	1 法の意義と司法参加	a: 現実社会の諸課題に関わる諸資料から,自立した政治的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめる技能を身に付けている。 b: 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について,合意形成や社会参画を視野に入れながら,その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを,論拠をもって表現している。 c: 政治参加と公正な世論の形成,地方自治などに関わる課題の解決を視野に,主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク 提出物
	第2章 私たちと政治	1 民主社会と政治参加 2 国際政治の動向と平和の追求	a: 現実社会の諸課題に関わる諸資料から,自立した政治主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめる技能を身に付けている。 b: 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について,合意形成や社会参画を視野に入れながら,その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを,論拠をもって表現している。 c: 国家主権,領土(領海,領空を含む),日本の安全保障と防衛,国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に,主体的に社会に関わろうとしている。			

3 学 期	第 3 章 私たちと経済	1 市場経済のしくみ 2 豊かな社会の実現 3 国際経済の動向と格差の是正	a: 現実社会の諸課題に関わる諸資料から,自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめる技能を身に付けている。 b: 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について,合意形成や社会参画を視野に入れながら,その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを,論拠をもって表現している。 c: 市場経済の機能と限界, 金融の働き,財政および租税の役割などに関わる課題の解決を視野に,主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク 提出物
	第3部 持続可能な社会の実現に向けて	1これからの日本の発電エネルギーはどうあるべきか。 2増加する医療費をだれが負担するべきか 3パリ協定目標達成のためにこくさ社会に	a: これまでに習得した概念や基本原理（幸福・正義・公正など）を総合的に活用して現代社会の課題を適切に捉え、複数の資料から客観的な事実に基づく情報を収集し、多面的・多角的に分析できている。 b: 自ら現代社会の課題を設定し、他者と協働して解決策を論理的に考察・構想した上で、公正に判断し、明確な論拠に基づきレポートやプレゼンテーションで論理的に説明・論述できている。 c: 持続可能な社会の形成に向けて自ら役割を担おうとする意欲を持ち、他者との合意形成に粘り強く取り組むとともに、探究の過程を客観的に振り返りながら自らの思考や判断を修正し、学習を向上させようとしている。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度